

H26年度 常陽森のボランティア 活動実績報告書



平成27年3月
常陽森のボランティア

目次

1. はじめに
2. 活動概要、実績と会員
3. 茨城町小幡フィールドでの活動
4. 茨城町若宮フィールドでの活動
5. 合宿研修とその他活動
6. 助成金活動と会計報告
7. 反省と今後の展開

1. はじめに

平成21年2月に森林ボランティア団体「常陽森のボランティア」として発足し、6年余が経過しましたが、その実績を残す為、本報告書を纏めました。活動も6年目となり、今年度も様々な活動を展開してきました。H26年度の特筆すべき項目は下記です。

①若宮フィールド「体験学習の森」の利活用継続:

3年を掛け整備を進めていた若宮フィールド「体験学習の森」の利活用 3年目となり、大きなイベントを実施したことです。

【イベント】: イベントとしては昨年度竹林を整備したことによるタケノコ掘りを4月に実施しました。若宮フィールドとしては 3年目のイベントで一般ファミリー(タケノコの会)が参加されました。7月には茨城町生涯学習課主催の茨城町立小学校(一部中学生)50名が参加したサマーキャンプ(7泊8日)のうち1日を自然体験学習を若宮「体験学習の森」で実施していただいた。子供達含めて 80名余が参加するビッグイベントとなり、子供達、含め非常に盛り上がりました。



N O	項目	内容	
1	朝のミーティングとジャガイモ掘り		
2	竹林での竹切り体験と竹の器、水鉄砲作り		

3	竹の切り出しと搬出		
4	竹の器作り		
5	水鉄砲で遊ぶ		

6	流しソーメン 体験		
7	恒例の竹パン		
8	森の中の 炊飯体験& ジャガイモ吹 かし		

9	夕食のカレー		
---	--------	--	--

【整備】：若宮地区では委託されている茨城町の昨年(H25 年度)予算が認可となり、懸案であった倒木処理の為、チッパーを導入して竹、倒木を4回(1回は花王の補助金、3回が茨城町の予算)に亘りチップ化しました。これにより、森林内が非常にきれいになりました。今年度は花王補助金から 1 回竹林内でチップ化を実施しました。チップについては、たい肥として使うことと、カブトムシを養殖するために利用することで進めています。また若宮には花王補助金で第 2 ツリーデッキの製作を始めました。10月の合宿研修で会員で材料を購入し製作しました。

NO	整備内容	日付	内容	備考
1	竹のチップ化	①H26, 9/21	費用：花王補助金 和興建設のチッパーを借りてチップ化	
2	第 2 ツリーデッキ製作	H26, 10, 4~5	花王の補助金をもらい材料を購入して会員で研修合宿を行ない基礎作りを行った。	

②会のブルゾン製作

森のボランティア茨城からの助成金 5 万円を使い。念願であった会のブルズンを 12 着製作した。会の帽子




と合わせ黄色とした。また背中と前に会の名称を入れた。

N O	項目	内容	
1	会のブルゾン製作		

③若宮体験農場本格化

一昨年は若宮フィールド内にある放棄農地を開墾し、畑にし、昨年は本格的にジャガイモ、サツマイモ、蕎麦、やさい(なす、かぼチャ、トマト、ピーマン他)を植え一部収穫しました。今年もジャガイモは7月の茨城町サマーキャンプ対する自然体験学習プログラムの一環として「ジャガイモ掘り体験」を実施し、森の中でカレーに入れたり、お土産として持って帰ってもらいました。また4月には昨年同様整備した竹林で「タケノコ掘り」をファミリー、子供達と実施し、タケノコご飯、天ぷらにして森の中で食べました。サツマイモは紅あずまとホシイモ用のいづみの苗 40 本を買い、5月に植え付けて11月に収穫しました。紅あずまは11月小幡元気の森で実施したきのこ収穫祭の際、子供達と焼き芋、さつまスイーツにしておいしく食べました。いづみは干し芋にすべく会員にお願いし、蒸かして切って干し芋にし2月の小幡でのキノコの植菌大会に子供達、ファミリーに食べてもらいました。

N O	項目	時期	内容	
1	ジャガイモ	植付け:3/9 芽掻き:5/4		

2	サ ツ マ イ モ	苗植え付 け:5/26 (紅あず ま、ホシイ モ用いづ み各2 00本) 収穫:11 /8 紅はる か100Kg、 11/9いづ み200Kg (250Kg)		
				
				
3	蕎 麦	ソバ蒔き: 8/27 蕎麦刈り: 11/4 蕎麦実取 り、乾燥:1 1/23 蕎麦は作		



④カブトムシ取り

7/28の茨城町生涯学習課主催の茨城町の小学生を対象としたサマーキャンプで実施するカブトムシ取りに使うカブトムシを竹林のチップの中にあるカブトムシを7/6取った。日熊が落ち帰り、当日まで餌をやりながら飼った。

NO	項目	時期	内容	備考
1	カブトムシ取りと飼育	H26, 7/6	竹林にいるカブトムシ焼く00匹を捕獲した。	

				
--	--	--	--	--

⑤茨城町町民祭への参加と学生ボランティアの参加

今年イベントに宇都宮大及び茨城大の学生が参加してくれた。多いに助かった。また茨城町町民祭については、昨年は他ボランティアのテントを借りてひっそりと出店していたが今年は出店料を払って本格的に参加した。12700 円の出店料に対し 15200 円の収入があった。

N O	内容	時期		
1	茨城町町民祭り出店	H26, 10/26 販売品準備 (LED 竹灯籠、展示パネル)	 	
2		H26, 11/2 茨城町町民祭 出店	 	

3		体験工作		
4	学生によるイベント支援	H26, 7/28(サマーキャンプ竹工作:竹の器と水鉄砲作り) H26,11/16 小幡収穫祭でのLED竹灯籠作り、竹トンボ作り		
5	ボランティア同期会	H26, 8/24(中村学校同期会第3回)		

2. 活動概要と会員

2.1 2つのフィールド活動について

2つのフィールドを各1回/月のペースで活動してきました。茨城町小幡の「元気の森林」では、小幡Ⅰフィールドは「元気の森林」と称して本会の中核となるフィールドで、かなり畑側の間伐も進んでいます。また0.4haと狭いのですが小幡Ⅱフィールドを一昨年度着手し、下刈り、間伐をほぼ終了したが、昨年度はあまり手を入れておらず12月に下刈と倒木処理を始めた。

児童養護施設・たちき学園の子供たちとの間伐材を利用したきのこづくりや、森林での自然とのふれあいについては、5年目を迎え昨年に比べ学園参加者も増えてきており、子供たちも楽しみにしています。H24年2月には一般の人15名を中心に「きのこづくりの会」を立ち上げ3回に分けて植菌、本伏せ、収穫の喜びを味わってい

ただきました。これも年々人数が増えてきており、定着してきており、たちき学園と一緒にきのこつくりを楽しんでもらっています。今年度は新会員も入り、参加者が増えています。一般の方にも自然への関心を高めてもらう為、今後も継続して実施します。

もう1つのH22年度より始めた**若宮フィールド**もかなり下刈り、間伐が進みつつあり、坂場さん以下4名の強力な推進もあり3年を経過して、若宮フィールドの奥までほぼ下刈が進み利用できる段階にきました。このフィールドはH22年3月に茨城町と整備に関する協定書を取り交わし、昨年11月には茨城町、県緑化推進機構を交え若宮フィールドを「体験学習の森」として整備するための打合せを行ない、H23年2月に茨城町関係者との打ち合わせを行なって現状進行状況確認と今後の進め方等を議論して進めています。

【倒木チップ化】 また、昨年度は森林、竹林内に点在する倒木処理の為のチップ化を茨城町にお願いしていましたが、予算が認可となり4回(1回は花王補助金による)に分けて大型チップ装置を持ち込んで、チップ化を行ないました。これにより森の中がきれいになりました。今年度は花王の助成金で1回竹林内のチップ化を行いました。来年度も残っている個所を行う予定です。

NO	チップ化と費用先	日付け&場所	内容	
1	花王補助金	H26, 9/21 若宮体験学習の竹林内竹チップ化		

【体験学習広場整備】 体験学習の森の中核となる学習広場にウッドデッキができあがり、懸案であった**ツリーデッキ**を森さんの指導のもとほぼ完成のところまで出来上がりました。また昨年度は念願であった道具保管小屋を製作したことで毎回運んでいた道具類の一部を保管できるようになりました。今年度は第2ツリーデッキの製作に取り掛かりました。

NO	日付け&場所	内容	

1	H26, 9/23 若宮体験学習の森	第2ツリーデッキ 製作材料準備、栗柱購入 	
2	10/4, 5 合宿にて第2ツリーデッキ基礎づくり	皮むき 	基礎づくり 
3	12/7 床基礎作り		

【体験農園の拡大】 昨年中村さんを中心に竹林わきの畑を開墾し、それを広げて350坪の体験農園を作れました。今年もそれを広げて約 400 坪になっています。

「蕎麦」: 農園には8月に蕎麦をまき11月に刈り取って(不作でしたが)蕎麦打ちをして食べる事が出来ました。昨年の17Kgと違い今年は10Kg 以下でした。来年はこれを反省しもう少し種を多く播く予定です。

「ジャガイモ」: 3月にはジャガイモを植え、7月末に茨城町生涯学習課の主催するサマーキャンプに茨城町の小学生 50 人が 1 日を割いて体験学習の森に来ました。その際、子供達に掘って、カレーに入れるのとお土産で持って帰ってもらいました。

「サツマイモ」: サツマイモはマルチングをしたことで昨年と違い多くの収穫(350Kg)がありました。苗は紅はるか 200 本、干し芋用いづみ 200 本を購入して植えました。サツマイモの紅はるかは11月小幡でのきのこ収穫祭に焼き芋とスイーツとして子供達に食べてもらいました。いづみは 11 月に収穫し 12 月に干し芋作りを行います。

した。来年度は干し芋の会を作って一般の人にも参加してもらおう予定です。H27年度は本格的に「体験学習の森」を近隣の子供たちや地域住民が森林での体験や茨城町と連携し東京都の子供達が利用できるように活用していく予定です。

【腐葉土作り、カブトムシ育成】

若宮フィールド内でチップ化したチップと落ち葉を利用し、腐葉土作りを行なった。また昨年度は他所よりカブトムシの幼虫を取って来て腐葉土の囲いに入れましたが、多くがいなくなったり死んでしまった反省を踏まえ、7月のサマーキャンプでの自然体験学習のイベントの際子供を提供するのができました。

7月以降にチップ化したチップの中には来年のカブトムシの幼虫が卵をうみ大きな幼虫になっていた。

来年は今年のように苦労することはないかもしれない。いずれにしてもカブトムシは8月後半では時期が遅すぎる。

NO	時期と内容		
1	H26, 7/6 カブトムシが羽化したものを竹林のチップの中から取り出して持って帰った。 サマーキャンプまで飼育した。		
2	7/30サマーキャンプ最終日カブトムシ取り		

2. 2資金調達と他団体との連携について

【資金調達】

〈補助金獲得〉

活動の基盤を支える資金調達として、一昨年夏に補助金申請を出していた「花王・みんなの森づくり活動」から3年に亘り助成を受け今年度は2年目となりました。また県の元気な森整備事業の助成金を受ける事が出来ました。その他エコーいばらき、森のボランティアいばらきより助成金をいただきました。

〈会収入増大〉

今年度は会として収入が大きく増えました。大きくは月に開催した茨城町サマーキャンプを受け入れ

会費を頂いたことです。7万円余の収入がありました。またきのこの会、新たにタケノコの会を発足させその収入も寄与しました。きのこの会は新会員も入り拡大してきました。そのた講師費用、寄付金等あり約22万円と昨年度(21万円)に比較し微増ではありますが増えました。

【きのこの会】

また今年度は一般の方にも森林含む自然とのふれあい、間伐材の利用などを体験していただくため4年目となった「きのこつくりの会」も会員が増え東京、土浦からの参加者もあり、1年掛けて3回に亘りきのこつくりを体験していただくイベントが定着してきました。これは会費をいただくシステムとしており、補助金ではカバーできない食材等含めた出費をカバーできる仕掛けを作っています。また間伐材利用のプランターやたけのこ販売によって会費不足を補えるようになってきました。今年度はタケノコの会を発足させ4月にタケノコ堀りと森の食事会でタケノコをおいしく食しました。

【たけのこの会】

昨年度から始めているタケノコの会も順調に会員が増えています。4月に竹林でタケノコを掘ることを楽しみにされています。また竹を使った工作も定着してきました。

【合宿研修】

研修に関しては、昨年の潤沼自然公園のキャンプ場と若宮フィールドでツリーデッキ作りの実体験を行ないましたが、昨年度から担当を決め纏めていただくことにしましたが昨年の森さんに続きことは鈴木さんが若宮「体験学習の森」にテントを張って道具保管小屋を製作しました。

N O	合宿研修 日付け、場所	研修内容	備考
1	H26,10/4,5 朝の合宿ミーティング (新しい会のブルゾンを着て)		
2	小屋が一部出来上がり&夜は懇親飲み会		

3	夕食作りとテントの中での飲み会		
4			

【他Grとの交流】

8月に取り纏めである中村栄三さんの声掛けで第3回目の森林ボランティア養成講座卒業生交流会が水戸で開かれました。9つの団体が参加し楽しい交流ができました。

2. 3活動実績

H26年度は茨城町小幡「元気の森林」と茨城町町有林(若宮フィールド)を整備してきました。3年前より若宮フィールドについては、地元の方4名が会員となっただき戦力大幅アップが図られ、引き続き今年も引っ張っていただきました。

今年は最終活動実績として、添付しました定例活動小幡13回、若宮 12回 計25回、非定例活動小幡8回、若宮1回 計9回 合計 回と前年くらべ大幅に活動が増加しました。大きな怪我等無く無事に3/16に総会を迎えるにいたりました。活動人員も小幡は延282人、若宮は92人で合計 人が参加しました。

10月には第6回目となる若宮フィールドでテントを張り、合宿研修をおこないました。今回は第2 ツリーデッキを森さん指導のもと作り始めました、夜はバーベキューを食べながら、酒を飲み会の運営、今後の計画などを話し合いました。

2月、7月、11月には茨城町小幡フィールドにおいて恒例となった児童福祉施設「樹(たちき)学園」児童や一般の「きのこの会」の人たちとの「きのこ作り」を体験でき、野外での食事会も大いに盛り上がり、懸案であった地域住民とのコミュニケーション作りも進みつつあります。また一般の方に参加いただいた「きのこの会」も好評で、H25年度活動として2月にきのこの植菌大会を開催しました。

今年はまだ若宮フィールドの利活用を始め、4月にタケノコの会の人たちとタケノコ堀りやタケノコご飯、てんぷら等森の中での食事を楽しみました。8月には茨城町と共同で品川ブルーレーシングの少年野球チームの子供達や父兄が参加し、ジャガイモ堀り、竹の伐採から始まり竹の水鉄砲づくり、カブトムシ採り、竹の樋を使った流しソーメン、ご飯を炊いてカレー等沢山のメニューによる食事会を開き、自然体験学習を行なってもらいました。

詳細な活動日程、フィールドについては添付資料を参照下さい。

2. 4会員について


会員は若宮フィールドに近い地元の方4名が若宮フィールド専任の活動をしていただきました。今年も特に懸案であった下刈り、倒木処理が一挙に進み、倒木のチップ化をすることで大幅に整備が進みきれいになりました。会員についていえば今年度は残念ながら新規加入会員はいませんでした。しかし学生を含め応援してくれる周囲の人が増えたことは良かったと思っています。今後HP立ち上げなどのより、会員増強促進を進めたいと考えています。なおH25年度名簿を添付致します。イベントには桜井さん奥さん、森さん奥さん、中村栄さん奥さん、日熊奥さんにも大いに手伝っていただきました。

3. 茨城町小幡フィールドでの活動

H21/2の会発足前より活動していた茨城町小幡フィールドは我が「常陽森のボランティア」活動の原点とも言うべきフィールドで、地権者である平沢 昭様はじめ平沢家の皆様に良くしていただき、活動的には順調に推移しています。また、地域住民の方々ともコミュニケーションが取れつつあり、今年度もより拡大していければと考えています。

H22 年度は小幡 I フィールド以外に小幡 II フィールドへ着手し(0.4 ヘクタール)の間伐、下刈りを完了させることが出来ました。また H22 年度は間伐材の利用としてフラワーボックス作成やドラム缶を使った竹炭製作などプロジェクト活動も活発化しましたが少しマンネリ化したところもあり来年度は新企画を検討したいと考えています。

【イベント】

N O	イ ベ ン ト & 参 加 人 数	時 期	内 容	工 作	食 事	備 考
1	<u>きのこ本伏せ</u> 樹 (たちき)学 園子 供 達、 きの	H2 6, 7/ 20	きのこ本 伏せ	ペットボトル ロケット作 り、竹の容 器づくり	①竹の樋を使った 流しソーメン、②カ レー、③パンケー キ、④焼きとうもろ こし、⑤鶏のから揚げ	

	この会、			
				
2	きのこ収穫祭 (樹(たちき)学園子供達、きのこの会、	H26, 11/16 きのこ収穫祭	LED 竹とうろうつくり, 竹とんぼつくり ①きのこご飯、②きのこ汁、③鮭のチャンチャン焼き、④シイタケ、サツマイモの天ぷら、⑤若宮で採れたサツマイモの焼き芋	 

				
3	<u>H26</u> <u>きのこ植</u> <u>菌</u>	H2 7, 2/ 16	きのこ植 菌	

【きのこ作り】

きのこづくりは、児童養護施設「たちき学園」児童の年間計画に組み込まれ自然教育だけでなく、コミュニケーションづくりに寄与しています。また一般の人で構成した「きのこづくりの会」をH23年2月に立ち上げ、今年度はより多くの人に森の恵みを分かち合えるようになってきました。昨年出なかったマイタケは出たのですが取り込み時期を誤り、からしてしまいました。反省！！

N O	きのこの種 類	ホダ木	工程	状況	備考
1	しいたけ	コナラ(購入50本)	2/17植菌、7/21本伏せ、 11/17収穫	昨年、一昨年のも のが収穫できたが 数は少ない。 特に今年はキノコ は不作。シイタケは 12月末に生えてき た。1月時期がずれ ている。	
2	なめこ	アメリカ楓			
3	ひらたけ	アメリカ楓			
4	くりたけ	さくら	昨年植菌した	今年収穫	

			が出なかった		
5	舞茸	コナラ(購入15本	3/7準備(含水)、3/8煮沸、3/10植菌	収穫期待したが出なかった。	
					

【炭焼き】

1つの炭焼プロジェクトは震災の影響を受け一部窯周辺が壊れたこともあり余り活動は出来ませんでしたが、昨年懸案の震災で壊れた大谷石が手に入りそれを使った第2窯の作成を行いほぼ出来上がりました。また2つの窯を保護する為屋根を行ないました。今年度は第2窯は5、6月には火入れを行いました、構造上の失敗もあり炭ではなく灰になってしまいました。2回失敗し、サイドの煙突の出口を小さくすることで火力を弱くし、3回目でやっと竹炭が出来ました。しかし今回は火力が強かったせいかドラム缶釜の底が抜けてしまいました。抜けたドラム缶を取り出していますがH27年度に再生しなければなりません。

NO	項目	時期	内容	
1	竹炭焼き	H26, 5/18	竹炭焼きを行っている小屋の全景(手前に薪が積んである。)	

2	第2窯での竹炭焼き	炭焼き纏め者の桜井さん		
3	第2号釜竹炭取り出しと第1号窯火入れ	H26,6/15	第2号窯からは良質の竹炭が取れた。第1号釜はターールがかなり溜まっており苦戦。	
4	第2号釜釜改修の為取り出し	H26,10/19	煙突の重みに耐えかね第2号窯のドラム缶の底が抜けてしまった。青柳さんが怪力で取り出した。	

【木工作、竹細工】

間伐材等の利活用推進の為、イベント毎に木工作、竹細工を子供達と実施してきたが小幡フィールドでは今年度下記を実施し、メニューが増えてきた。

N O	名称	実施 時期	材料	対象	備考
--------	----	----------	----	----	----

1	竹工作 (竹トンボ作り)	H26, 4 /20	若宮でのタケノコ掘りの後竹工作を実施。竹トンボ作り	タケノコの会 児童、ファミリー	
2	竹の器とペットボトルロケット作り	H 2 5, 7, 20	流しソーメンの食器となる竹の器作りとペットボトルを使ったペットボトルロケット作り	たちき学園 児童、きのこの会児童、ファミリー	
					
3	茨城町サマーキャンプ	H26,7/28	子供たちの体験として竹林より竹を切り出し竹の器(流しソーメンで器として使う)作りと水鉄砲作りを体験してもらった。	茨城町小学生のサマーキャンプ	



4 LED竹
とうろう

H 2
6, 1
1, 16

竹と木及び和紙を使
って竹のとうろう作
り. 今回はLEDを使
い室内でも使えるよ
うにした。

たちき学園
児童、きのこ
の会児童



5 ミニ門
松作り

H 2
6, 1
2, 23

竹を使ったミニ門松
作りを今回初めて実
施。好評であった。

会員




4. 若宮フィールドでの活動

若宮フィールドは整備を始めて5年経過し9割方整備が進んできました。まだ残っているのは竹林で今後重点的に整備していきます。特に当初篠竹が繁殖していましたがとりあえず3回は下刈が終わりほぼ篠竹は無くなって来ました。茨城町との協定で燃料の一部も提供願っています。若宮フィールドは町と協定を結んで整備を行なう関係から11月に整備検討会を立ち上げ、町、県緑化推進機構に入っただき、「体験学習の森」として整備するため、現地調査を含め整備計画を纏めて進めています。昨年は利活用を行なうということで町と打ち合わせを実施し、8月に大々的に東京より品川ブルーレーシングの少年野球チーム、父兄の方々に自然体験学習プログラムの体験を行なっただき好評でした。今年は茨城町生涯学習課主催の茨城町立小学校生徒を対象としたサマーキャンプ(7泊8日間)の1日を若宮体験学習の森で自然体験学習をしていただきました。生徒50名とサポーターや会員、学生含め総勢80人が参加する大規模なイベントとなりました。

【イベント】

NO	イベント & 参加対象	時期	内容	工作	食事	備考
1	タケノコ堀り(タケノコの会) 参加40名	H26, 4/20	タケノコ堀り	竹トンボ作り	①タケノコご飯(釜で炊いた)、②タケノコとしいたけの天ぷら、③、竹パン④	
2	自然体験学習(茨城町小学生50人) 参加総勢80名	H26, 7/28	ジャガイモ堀り、工作、カブトムシ採り、流しソーメン	竹の水鉄砲作り 竹の容器作り	①竹の樋を使った流しソーメン、②竹パン、③	


3	ミニ門松 づくり(7 人)	H26,12/23	会員に よるミニ 門松作 り	竹を 切り出 しミニ 門松 作り	なし	
---	---------------------	-----------	-------------------------	------------------------------	----	---

【整備とチップ化】

学習のひろば周辺もシンボルツリーの周辺整備、木製パレットをベースにウッドデッキをつくり、またツリーデッキも完成しました。また孟宗竹の竹林があり、H22年度春に竹の子採りをおこなったがH23年度春によりおいしい、多くのたけのこ採りが出来るように竹林内の枯れ木、枯れた竹の伐採、間引きを実施して昨年は本格整備の結果400Kgもタケノコを収穫することが出来ました。又昨年の大きなエポックとして6月より4回に亘って大型のチップパー機械を導入し、倒木、竹のチップ化を行ないました。1回は花王の補助金で、3回は茨城町で予算化していただきました。4回のチップ化作業で森林内が非常にすっきりしました。今年は花王の補助金で1回おこないましたがまだ残っておりH28年度も1回実施する予定です。今年は第2ツリーデッキ作りに着手しました。森林内は枯れ木、倒木の整理を進めています。来年度には近隣小学校の子供たちが少しでも自然を学習できる森に整備できる環境が整ってきたと考えています。今後は多くの知見を得て進めたいと考えます。

【体験農園でのイベント】

昨年より休耕放棄地を体験農園としてよみがえらせ、農園として体験してもらうことを進めていますが、今年は耕作面積を増やし350坪とし多くの作物を栽培し、収穫等を体験していただきました。

N O	作物	植え付け、収 穫時期	収穫量	状況と反省点	備考
1	じゃがいも	3/9 植え付 け、7/28 収 穫	100Kg	7/28のサマーキャン プで茨城町小学校 の子供達に収穫して もらった取ったジャガ イモはカレーに入れ て食べました。	

2	さつまいも (苗：紅あずま200本、ほしいもいづみ200本)	7/6 苗植え付け 11/9に収穫祭用に収穫。	350Kg	11/17の小幡収穫祭で焼き芋にしてきのこの会会員にお土産の持って帰ってもらった。マルチングしたので収穫量が大幅に増えた。干し芋は貯蔵方法に失敗し多くを腐らせてしまった。反省	
					
3	蕎麦	8/27ソバ蒔き、11/14蕎麦刈り、11/22蕎麦の実取り、	8Kg 不作	蕎麦の会を作りソバ蒔きから収穫、蕎麦打ちまでを始めた。しかし今年は天候不順と種まきで失敗し大不作。反省。来年はもう少し大々的におこなう予定。	
					

5. 助成金獲得活動と会計報告

【助成金獲得活動】

会費が3000円/人・年と変えませんでした。今年度も従来の県森林湖沼税からの補助金「元気な森林推進事業」からの補助金をいただき活用できました。我々の活動が定着し実績が認められ始めた為、申請そのものは、2件が受理されました。またエコー茨城から合計50000円の補助金も申請して受理され、なんとかイベント関連の費用もまかなえる状態となりました。森のボランティア茨城より50000円の補助金をいただき念願であった会のブルゾン12着を作りました。花王の補助金では第2ツリーデッキの製作を始めました。昨年度の懸案であった自己活動資金増やす方策については各種会(キノコの会、タケノコの会、蕎麦の会)の収入や各種販売を中心に収入を得る事ができました。H28年度も拡大を図ります。補助金の獲得の詳細は下記を参照下さい。

1) 茨城県農林事務所(森林湖沼税より) (H26,9~H27,3)

「H25年度茨城県元気な森林づくり活動支援事業」 金額: 250,000円

テーマ: 茨城町小幡民有林を「近隣のモデル林」とし、森林整備活動を通じて地域住民とのコミュニケーションを図る。

2) エコーいばらき環境保全基金(H26,3~H26,12) 金額: 50,000円

テーマ: 環境整備とコミュニケーション活動: 児童福祉施設児童とのきのこの作りを通してのコミュニケーション作りやフ
ラワーボックス提供

3) (財)都市緑化推進機構「花王・みんなの森づくり活動」 金額: 350,000円

テーマ: 自然環境とその恵みを学ぶ体験学習プログラム

4) 森のボランティアいばらきより活動助成金 金額: 50,000円

会のブルゾン製作

【会計報告】

会費に関する入金、支出、残金に関する報告を添付の「H25年度常陽森のボランティア会費報告」に示します。昨年花王のみんなの森づくりの補助金が取れたことで収入面で大幅に改善出来ました。またいつもいただいている県の元気な森づくりもいただきました。また今年は会としての収入が増えました。きのこの会、タケノコの会、若宮でのサマーキャンプからのイベント収入、茨城町祭り出店によるプランター販売などによるもので、22万円以上になりました。しかし体験農園での種代、他今後とも費用がかかることが予想され、より収入アップが必要です。H27年度も出来るだけ収入を得る手段を考えます。

6. 広報活動

今年度は11/2に開催された茨城町町民祭りに会として参加し、販売と共に会の活動をパネル等で PR しました。会員増員を期待しています。

N O	PR 対象	内 容
--------	-------	-----



7. ボランティア保険、レクリエーション保険の加入

今年は昨年に引き続きボランティア保険の傷害保険を使わせていただきことはありませんでした。会員の平均年齢が上がってきたので怪我の心配があったのですが何よりです。来年度もそうありたいと思います。施設の子供たちやきのこの会の人たちとのイベントがあることから、きのこづくりを対象に「レクリエーション傷害保険」を継続加入しました。

8. 反省と今後の展開

会発足丸6年を経過し、計画していた項目はほぼ達成し、活動も定着してきました。特に今年は活動も活発化し、他会との交流も増えてきました。ただ会員がまだ少なく、HP作成やイベント活動拡大により新会員の獲得に努めます。今後其他の会との連携、公共機関との連携をより強化していきたいと考えます。

——以上——

H27年3月16日
常陽森のボランティア
幹事 一同